

[JPACP2024-020] 公開シンポ「人生 100 年時代における心理学の貢献—縦断研究から紐解くこころの加齢発達—」・12 月 15 日

If you are unable to see this message, click the URL below.

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2024/09/JPACP2024-020.pdf>

公益社団法人日本心理学会 認定心理士 各位

◆-----◆
公開シンポジウム

「人生 100 年時代における心理学の貢献—縦断研究から紐解くこころの加齢発達—」(2024 年 12 月 15 日(日))

https://psych.or.jp/event/sympo2024_1/
◆-----◆

■日時

2024 年 12 月 15 日(日) 13:00-16:00

■開催方法

- ・対面 (大阪大学中之島センター 10 階 佐治敬三メモリアルホール)
定員 150 名
- ・オンライン (Zoom ウェビナー)
定員 500 名

事前申込制【申込締切: 2024 年 12 月 11 日(水)】(無料)

■概要

日本心理学会が、2014-15 年に高齢化社会における心理学の貢献に関するシンポジウムを開催してから 10 年経った。現在、「超高齢社会」は「長寿社会」へと変貌してきた。心理学は、「長寿社会」を「幸福長寿社会」へと導くことはできるのだろうか。

本シンポジウムでは、中高齢者を対象とした縦断研究に携わっている、3 名の研究者から加齢変化に関する近年の知見を報告いただく。そして、それらの知見に基づいて今後の日本の高齢化に対する心理学の貢献についてディスカッションする。

■話題提供者

中年期から高齢期にかけての認知機能の加齢変化～学際的縦断研究より～
西田 裕紀子 (国立長寿医療研究センター)

高齢者は幸福になったのか～異なった時代のデータ比較から見えるもの～
中川 威 (大阪大学大学院)

高齢期における心理的発達～老年的超越の視点から～
増井 幸恵 (東京都健康長寿医療センター研究所)

■指定討論者

岩原 昭彦 (京都女子大学)

■特別企画

「中学生によるジェロントロジー研究会」の紹介

■企画・司会

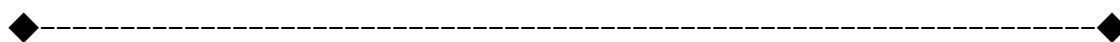
権藤 恭之（大阪大学大学院）

■お申し込み

下記本シンポジウムのページより、「お申し込みはコチラ」（対面もしくはオンライン）ボタンをクリックして所定の事項をご登録ください。

https://psych.or.jp/event/sympo2024_1/

- ・事前申込制【申込締切：2024年12月11日(水)】
- ・どなたでもご参加いただけます。



■認定心理士の会 行事

（公開行事） <https://psych.or.jp/authorization/ninteinokaievent/>

（新刊連動講座） <https://psych.or.jp/authorization/ninteinokai-book/>

■メール配信バックナンバー

<https://psych.or.jp/authorization/mailservice/>

■認定心理士の会 ニュースレター

<https://psych.or.jp/authorization/ninteinokai02/>

■配信先メールアドレスの変更や配信中止，学会登録情報の変更

（連絡先，所属機関，学歴等）は，メール（ jpanintei@psych.or.jp ）でお知らせください。



公益社団法人日本心理学会

<https://psych.or.jp/contact/>

